

# 砂防ニュース 第33号

発行：新潟県土木部砂防課

発行日：平成22年6月1日

## みんなで防ごう土砂災害

＝6月は土砂災害防止月間です＝

国土交通省では、雨が多くなる6月を「土砂災害防止月間」と定めています。梅雨期は降雨によって、地盤がゆるみ、土砂災害が発生しやすく、とくに新潟県は、全国の中でも、土砂災害が発生しやすい自然環境にあります。土砂災害から身を守るために「日頃の備え」と「早めの避難」を心がけましょう。



## 土砂災害からあなたを守るために

### どこが危ないか調べておこう

自宅、職場、学校など、生活している地域の中で「土砂災害の危険箇所」はありませんか？

「ここが、こうなったら土砂災害の危険がある」という場所を決めておき、大雨の時には、建物の中からチェックしましょう。



### 気象情報に気をつけよう

テレビやラジオの気象情報に気をつけて、土砂災害注意報や警報が流されたら、いつでも避難できるようにしておきましょう。

市役所や役場から放送される防災無線にも、よく耳をかたむけるようにしましょう。



し大雨に注意

### 避難場所を確認しておこう

いつも家族みんながいっしょにいるとは限りません。

家族で防災会議を開き、家族の避難先と道順、家族同士の連絡方法、避難するときに気を付けることなどを話し合っておきましょう。

また、避難場所までの道のりを自分で歩いてたしかめてみましょう。



### 土砂災害警戒情報を活用しよう

県では、気象台と共同で、土砂災害から身を守るため、避難の判断基準となる情報として「土砂災害警戒情報」を発表しています。この土砂災害警戒情報を含めた土砂災害に関する情報を、インターネットを利用した「土砂災害警戒情報システム」で配信していますので、ご活用下さい。

<携帯電話アドレス

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/m/>

<インターネットアドレス

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>



土砂災害防止月間中に、国土交通省湯沢砂防事務所管内の各市町村役場のロビー等にて、土砂災害の概要、砂防事業の取り組み等に関するパネル展を開催します。

日程および場所については、国土交通省湯沢砂防事務所ホームページをご覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

## 県境なき技師団の活動

新潟県では近年頻発する大災害に備え、初動時からの必要人員確保・派遣を目指した『災害応援派遣の事前準備体制～県境なき技師団～』を結成しています。

平成20年度に発生した岩手・宮城の地震では、二次的な土砂災害を予防するために危険な箇所の緊急点検として新潟県職員を派遣した実績がある中、平成21年度からは緊急点検の一層の理解と訓練を目的として、県境なき技師団を中心に模擬点検研修を実施しています。

平成22年度についても引き続き研修を行う予定です。

【平成21年度 模擬点検研修の状況】



室内研修



現地点検



点検結果報告

## JICA研修生の視察

4月27日、28日の2日間、土砂災害対策や砂防技術を学ぶため国際協力機構（JICA）の研修生が新潟県内の地すべり発生現場や砂防えん堤など視察しました。

土砂災害の起こりやすい地形、地質であり、対策工法の実績が多い新潟県では、この視察を毎年実施しています。今年度は中国、インドネシア、マレーシア、パキスタン、フィリピン、トルコおよびベネズエラから例年より多い7名の研修生が視察に来ました。妙高市馬場地区では、発生したばかりの地すべりの現場を説明し、長岡市山古志地域では中越地震復旧工事現場などを見学し、対策工法について、新潟県の担当者が説明しました。



## 万内川砂防公園サマーフェスティバルのご案内

夏休み恒例のイベントとなった万内川砂防公園サマーフェスティバル。砂防えん堤群が国の登録有形文化財に指定されたのを記念して開催されて以来、今年で7回目を迎えます。

毎年、大人気のニジマスのつかみ取りも行われる予定です。

ご家族のみなさんと、ぜひ、お出かけ下さい。

日時 8月14日（土） 10時～15時予定

場所 妙高市大字西野谷地内 万内川砂防公園



昨年度のニジマスのつかみ取りの様子

## 土砂災害警戒区域の指定について

県では「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定を行っています。これは、危険な箇所の調査（以下、基礎調査）を行い、あわせて危険な区域を指定することで、土砂災害のおそれのある箇所を明らかにし、新たな宅地開発等により増え続ける危険箇所の抑制および警戒避難体制の整備を図ることを目的としています。

下の表は、現在の指定状況を市町村ごとにまとめたものです。これからも順次、土砂災害警戒区域等の指定を行っていきますので、基礎調査と区域指定にご理解とご協力をお願いします。

土砂災害（特別）警戒区域の指定状況（平成22年5月28日現在）

市町村	危険箇所		市町村	危険箇所		市町村	危険箇所		
	警戒区域	特別		警戒区域	特別		警戒区域	特別	
村上市	503		燕市	35		南魚沼市	363	92	59
関川村	84		田上町	34		湯沢町	112	55	43
粟島浦村	16		加茂市	287		十日町市	793	121	73
胎内市	79	9	三条市	324	111	津南町	99	33	12
新発田市	167	41	見附市	129	28	上越市	1248	183	65
聖籠町	0		長岡市	1,413	74	妙高市	221	42	9
阿賀野市	80	25	出雲崎町	87	14	糸魚川市	566	80	40
阿賀町	293	94	小千谷市	215		佐渡市	943	202	94
五泉市	279	10	柏崎市	613	60	計	9924	1457	672
新潟市	251	181	刈羽村	52	2				
弥彦村	56		魚沼市	505					

土砂災害警戒区域等を表示した公示図書は、市町村、県地域振興局または県土木部砂防課でご覧になれます。なお、公示図書の一部を砂防課ホームページでも確認できます。

HPアドレス <http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/1193933760987.html>



## でかけてみませんか・・・大源太川第1号砂防えん堤（湯沢町）

[国土交通省湯沢砂防事務所施工]

有事は土砂災害を防ぐ機能を発揮、普段は自然公園などとして利用されている県内の砂防施設を紹介します。



昭和14年に建設されたえん堤

湯沢町土樽にある<sup>だいげんた</sup>大源太川第1号砂防えん堤は、昭和10年9月の「魚沼大水害」を契機に施工されました。この災害では、各所に土石流が発生し、鉄道等の交通路にも甚大な被害が生じました。この砂防えん堤は、我が国における最も初期のアーチ式えん堤です。アーチ式砂防えん堤は、堤体の体積を小さくすることができ、経済的に優れるばかりでなく、造形的な美しさにも特徴があります。

<sup>だいげんた</sup>大源太川第1号砂防えん堤は、「国土の歴史的景観に寄与している」として、平成15年に国の「登録有形文化財」として指定されました。

えん堤上部の大源太湖の周囲には遊歩道が整備され、近くにはキャンプ場もあり、多くの人で賑わっています。

新緑の季節、一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

出典 大源太川第1号砂防えん堤 登録有形文化財 記念碑より

## 「国土交通大臣賞」受賞！

毎年、「土砂災害防止月間」事業の一環として、小・中学生を対象に「土砂災害防止に関する絵画・版画・ポスター・作文コンクール」を開催しています。昨年度は、小学生作文の部で、糸魚川市立磯部小学校の丸山さんが、最優秀賞の国土交通大臣賞を受賞されたほか、以下のとおりの結果となりました。

小学生・作文の部 国土交通大臣賞 糸魚川市立磯部小学校 4年 丸山あかり

小学生・ポスターの部 国土交通省砂防部長賞 五泉市立五泉東小学校 5年 横山朝陽

(敬称略・学年は受賞当時)



丸山さん 表彰風景



横山君 表彰風景



横山君の作品

### H21 土砂災害防止に関する作品コンクール 新潟県内審査結果 (敬称略、学年は受賞当時)

小学生・絵画の部				
最優秀賞	出雲崎町立	出雲崎小学校	2年	矢部 啓太
新潟県治水砂防協会長賞	糸魚川市立	青海小学校	6年	日馬 花果
優秀賞	糸魚川市立	磯部小学校	4年	久保田 莉奈
佳作	糸魚川市立	磯部小学校	4年	池田 夏緒
小学生・ポスターの部				
最優秀賞	五泉市立	五泉東小学校	5年	横山 朝陽
新潟県治水砂防協会長賞	新発田市立	東豊小学校	6年	高橋 絵理香
優秀賞	新潟市立	坂井輪小学校	6年	古澤 希衣
佳作	上越市立	直江津小学校	6年	田辺 李樹
中学生・絵画の部				
新潟県治水砂防協会長賞	南魚沼市立	大和中学校	3年	佐藤 愛実
優秀賞	上越市立	大潟町中学校	3年	渡邊 栞
優秀賞	新潟市立	新津第一中学校	2年	清野 詩織
佳作	新潟市立	新津第一中学校	1年	松田 彩花
中学生・ポスターの部				
最優秀賞	上越市立	大潟町中学校	1年	川合 捺月
新潟県治水砂防協会長賞	南魚沼市立	大和中学校	3年	塩野谷 春
新潟県砂防ボランティア協会長賞	新潟市立	新津第一中学校	1年	前田 悠太郎
優秀賞	柏崎市立	第三中学校	3年	戸田 有沙美
優秀賞	柏崎市立	第三中学校	1年	中村 百音
佳作	柏崎市立	第三中学校	1年	近藤 祥平
小学生・作文の部				
最優秀賞	糸魚川市立	磯部小学校	4年	丸山 あかり
佳作	柏崎市立	比角小学校	5年	中村 勇舞

丸山さんの作品のタイトルは『教室から見えるパイプを見て考えたこと』。いつも何なのか疑問に思っていた教室の近くのパイプが、地すべりを予防するものだということが分かり、実は身近なところにあった土砂災害に対して、理解が深まっていったという内容です。

なお、県内の審査結果は左の表のとおりでした。今年も、6月1日から9月15日にかけて、作品を募集する予定です。多くの小・中学生の皆さんからのご応募をお待ちしています。

ご意見・ご感想・情報などをお寄せください。(次号は8月末発行予定)

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県土木部砂防課

TEL(直通): 025-280-5424 FAX: 025-285-9724

E-メール: ngt080090@pref.niigata.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/index.html>



新潟県